

# 「に」の識別

- ①「に」の上が連体形(体言)だったら「に」は格助詞、または接続助詞、または断定の助動詞  
連体形(体言)+「に」↓格助・接助・断定

※格助詞・断定の助動詞の「に」の場合は、体言につくこともある

- ②「〜に」と訳せたら「に」は格助

- ③ 順接  
の  
で  
と  
こ  
ろ  
と

と訳せたら「に」は接助

- 逆接  
の  
に  
け  
れ  
ど  
も  
の  
だ  
が

- ④「〜である・〜で」と訳せたら断定

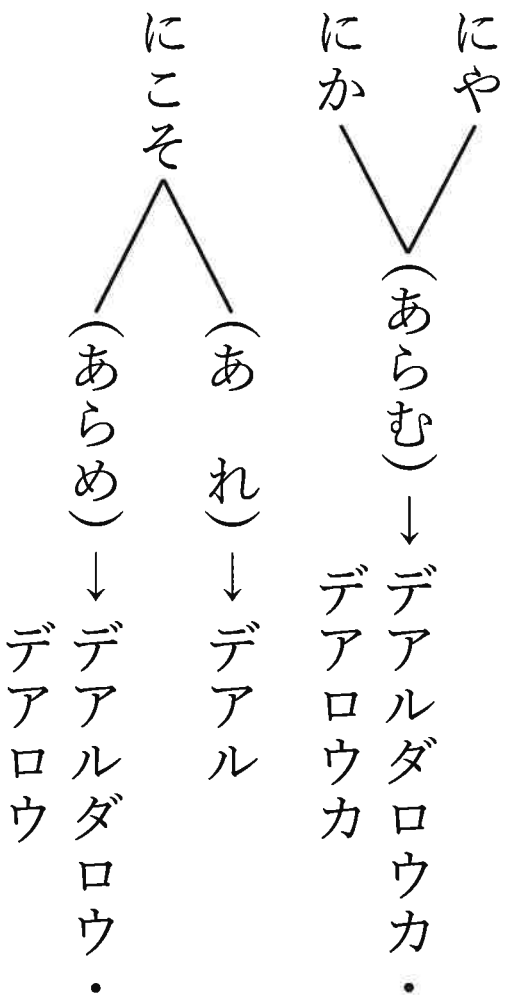
- ⑤ 連用形+に↓完了の助動詞

- ⑥「に」の上に「往」・「死」があればナ変  
(往に・死に↓一語でナ変動詞の連用形)

- ⑦「性質・状態+に」↓形容動詞 〈例〉そぞろに

- ⑧「にき・にけり・にたり」の「に」は完了

⑨「にや」「にか」「にこそ」の「に」は断定



⑩「にあり」「におはす」「におはします」「に侍り」「に候ふ(さぶらふ)」の「に」は断定

cf. 「に」と動詞(あり・おはす・おはします・侍り・候ふ)の間に助詞が入り込むことがある

↓係助詞(ぞ・なむ・や・か・こそ・は・も)、  
副助詞(し)、副助詞+係助詞(しも)、接続助詞(て)

〈例〉皮にはあらず・事にこそ候ふなれ・

ごとくににもあらず・人なきにしもあらず

↓四つとも「に」は断定

※ただし「に」と訳せたら格助詞

⑪「―げに」「―かに」↓形容動詞  
〈美しげに・にほひやかに〉

⑫ 入試で「まことに」「つひに」「さらに」「ことに(殊に)」と出たら一語で副詞

《邪道》

「連体形＋に」の下に「、」があつたら接助  
「連体形・体言＋に」の下に「、」が  
なかつたら格助

〈省略〉

とぞ  
となむ  
とや  
とか  
とかや

（言ふ）の省略  
まれに（聞く）の省略

とこそ — （言へ）の省略  
まれに（聞け）の省略

にや  
にか  
（あらむ）↓（デアルダロウカ）  
デアロウカ

にこそ  
（あれ）↓（デアアル）  
（あらめ）↓（デアアルダロウ）  
デアロウ

